

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しらゆりのめ			
○保護者評価実施期間	R6年11月11日 ～ R6年12月11日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	R6年11月11日 ～ R6年12月11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援及び関係機関連携	保護者からの相談（家庭や学校等での困り感）に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。 例えば、学校での学習のつまずきについては、子どもの困り感が軽減されるよう学校と連携を図り対応している。また、保護者や関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組むことが出来ている。	保護者の不安や悩みをスタッフ間で共有し、いろいろな視点から意見交換を行い、そこで出た案をお伝えすることで不安や悩みを解消していただけるように努めている。
2	支援前、支援後に児童の様子・支援の振り返り・特記事項など情報共有が出来ている	連絡ノートを用いて、休みの職員にも漏れがないように情報を伝えたり、1日の児童の様子を色々な職員の目線から確認し、子どもの状況を把握している。	誰が見ても伝わるように、連絡ノートやカンファレンスの記入をする際は丁寧に文面を記入できるように意識している。
3	充実した活動支援プログラムの構築が出来ている	5領域を踏まえて、楽しく活動に参加していただけるよう、月案から週案へ丁寧に落とし込みを行い、スタッフの強みを活かした支援が行えている。	利用児童の好きなもの・興味のあることを常に把握し、それを活動に取り入れるなどしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルアップ	研修などに参加できていないので、各個人でスキルアップをこれから図っていき、より良い支援が利用者の方に提供できるようにしていきたい。	発達の捉え方のポイント・スタッフの動き・関わり等の勉強会を開いたり、研修に参加するなど職員のスキルアップを図る。
2	専門職による支援	作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による支援が望まれているが、現段階では確保できていない。	必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者がスキルアップを行い、専門性につながる支援に取り組んでいく。
3	利用者が少ない	10月に出来たばかりなので、事業所の認知度不足が考えられる。	Googleで事業者情報の登録をしたり、地域の福祉課や子育て支援センターに事業所の情報を届けて紹介を依頼し、少しずつ事業所の認知度を高め、困っている方に療育のサービス提供が出来るようにしていく。